

衆議院外務委員会ニュース

平成 22.11.5 第 176 回国会第 3 号

11 月 5 日（金）第 3 回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・前原外務大臣、安住防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

小野寺 五 典君（自民）

- ・尖閣諸島周辺領海内における我が国巡視船と中国漁船との接触事案とみられる 44 分のビデオ映像がインターネット上に流出しているが、同映像を海上保安庁が撮影したものだとする、その映像データはどこが保管していたのか。
- ・国後島を訪問したメドヴェージェフ露大統領は、他の北方四島への訪問の可能性を示唆しているが、訪問が行われた場合、我が国政府はどのような対応をとるのか。
- ・本年末から来年春にかけて実施予定の日米合同軍事演習の際に島嶼防衛を想定した演習の実施予定はあるのか。

秋 葉 賢 也君（自民）

- ・メドヴェージェフ露大統領の国後島訪問を前原外務大臣は予測していたのか。
- ・北方領土に対するロシア側の対応の変化に伴い、我が国の対ロシア戦略の見直しが迫られていると思うが、前原外務大臣の見解はどのようなものか。
- ・我が国が議長国を務める 2010 年アジア太平洋経済協力（APEC）開催中に、日中、日露の首脳会談及び外相会談を行うべきであるが、前原外務大臣の所見を伺いたい。

赤 松 正 雄君（公明）

- ・メドヴェージェフ露大統領が国後島を訪問した背景には、北方領土問題の解決方法に対する我が国の一貫した主張の不在があるのではないかと。
- ・前原外務大臣は、近年、ロシアが国力の増大により、北方領土の「ロシア化」に向けて積極的に動き始めているとの認識を持っているのか。

- ・尖閣諸島周辺領海内における我が国巡視船と中国漁船との接触事案に係る衝突映像の流出が問題となっているが、そもそも映像記録の公開が要請されてから国会で公開されるまでの当局の対応が遅かったのではないかと。

笠 井 亮君（共産）

- ・前原外務大臣は、メドヴェージェフ露大統領の国後島訪問が、ロシアにとって北方領土が重要な地域であり、領有の固定化を主張するものとの認識を持っているか。
- ・西村外務省条約局長（当時）の「平和条約で放棄した千島列島に、南千島（国後島及び択捉島）が含まれる旨の国会答弁（1951.10.19）について、前原外務大臣はどのように解釈するか。
- ・南千島が「含まれる」はずの千島列島を放棄しながら、その後、「含まれない」と我が国政府が主張するのは矛盾であり、菅政権は従来の政府見解を変更すべきではないか。

服 部 良 一君（社民）

- ・前原外務大臣は、辺野古新基地に米軍オスプレイが配備され、滑走路の形状が変わるならば環境アセスを再度行うと述べているが、形状の変更の有無にかかわらず環境アセスをやり直すべきではないか。
- ・普天間飛行場にオスプレイが配備された場合、オスプレイ専用の格納庫や駐機場等は新設されるのか。
- ・環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）に我が国が参加することは、食の安心・安全に向けた取組や地産地消による雇用創出といった我が国の農業政策と矛盾するのではないかと。

- 2 原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とヨルダン・ハシェミット王国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第1号）
所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国とスイスとの間の条約を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（条約第2号）
所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国とオランダ王国との間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第3号）
日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における物品又は役務の相互の提供に関する日本国政府とオーストラリア政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第4号）
- ・前原外務大臣からそれぞれ提案理由の説明を聴取しました。